

諸家系譜

井口 井田 井坂 井野
 一色 飯河 一尾 井関 一場

太政官文庫
 和書門
 三三六四九
 三三五
 冊架函號類

内閣文庫
 和書
 三三三三九
 二三五
 冊架函號類

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (28)
函號	156 23

共二百廿五函

六八十五



系簿

源

源
皆
○

未
去
行
字
墨

考
一
色
教
馬

源姓 一色氏

右様之有以律神公源初之河本旗乃有自一色ノ
右位極後見世以一色亦在右福山

旗之氏 川五郎 延年以後言以後矣
傳中作傳

幕之氏 川要郎

市之氏 川西郎
六七郎

望之氏 源一

今更身交後知右之十二代極後母後之屋後之少信下
右之師是右之信春氏七男

公源 一毛河原宗 右之信春

範氏 一毛二斤

直氏 一色八斤 右之師 右京左衛

征夷大將軍之子氏之屬之能紫探部之師傳
世後代之之利右所屬相丹後信春之師

氏兼 右之師 長宗 右京左衛

直明 信春下之右之師

實後之國之義嗣之曾
亦受其師於右之信春氏

直隆 右之師 右京左衛

寛弘元年二月廿七日... 院若敷院

直頼

延暦下二月... 延暦下二月

直朝

延暦下二月

天文元年... 延暦下二月

義直

延暦下二月

母

梁田

仕長... 延暦下二月

相馬... 延暦下二月

能... 延暦下二月

延暦下二月

後醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀
正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀
正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀
正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

照道

正長七年丙午正月 醍醐天皇御紀 卷之三十一 醍醐天皇御紀

母 十

後修傳 河内之公亦信長遠之公代多居在長女
子年 母丹 河津 信子

台徳院橋のり信長七宮年十月に村井浦生部之
公の公の信長は公の義通の信長は信長
由子之信長は公の子有守公の信長は
信長公の信長は公の信長は公の信長は
至公の信長は公の信長は公の信長は

河内信長

信長公の信長は公の信長は公の信長は
公の信長は公の信長は公の信長は

信長公の信長は公の信長は公の信長は
公の信長は公の信長は公の信長は
公の信長は公の信長は公の信長は
公の信長は公の信長は公の信長は
公の信長は公の信長は公の信長は

信長公の信長は公の信長は公の信長は

公の信長は公の信長は公の信長は
公の信長は公の信長は公の信長は
公の信長は公の信長は公の信長は

直伝

母

信長 天

信長 天

女

母

孫傳文母 孫傳文

曾女

中為之馬御之御書
實保傳文母 孫傳文

百氏

古十年

百氏

美

孫傳文母 孫傳文

母

孫傳文母 孫傳文

書

孫傳文母 孫傳文

孫傳文母 孫傳文

孫傳文母 孫傳文

某

門記文

母

孫傳文母 孫傳文

直房

八十一年 大京

書

孫傳文母 孫傳文

孫傳文母 孫傳文

子有子也心内身在(一)也...
 不知其何物多(一)也...
 交代中(一)也...
 与(一)也...
 号(一)也...

直武

母 石
 九門 石
 石

直興

初(一)也...

母

山(一)也...

妻

中(一)也...

直(一)也...

明(一)也...
 入(一)也...
 石(一)也...
 初(一)也...
 直(一)也...
 石(一)也...
 直(一)也...

直田

母 石

直次

母 石

石(一)也...
 石(一)也...

直親

母

宗女 一色七郎左衛門尉宗子

来

母

八女并 文
近江氏女
三月 亥

直賢

青母
実

母 直賢 長女 二男

天保十二年生 河内守 宗子 去 宗子
宗子 天保十二年 河内守 宗子 十八年 宗子
其 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子

女

母

天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子

直國

母

八女并 叔馬

天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子
天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子

利陽

天保七年 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子 宗子

女

母 伊佐敷 富永親次春代生

直師

母 小寺 一水 石井元伊佐敷女
長子長孫身信女

元文十一年十月十日生 長子長孫身信女
公孫孫身信女 永永身信女 永永身信女
永永身信女 永永身信女 永永身信女

敬直

母 小寺 一水 石井元伊佐敷女
長子長孫身信女

高 河内流 杉本因信守 藤田女

寛文十一年九月十日生 長子長孫身信女
公孫孫身信女 永永身信女 永永身信女
永永身信女 永永身信女 永永身信女
永永身信女 永永身信女 永永身信女

女

母 文 上

女

母 杉本氏女

直流

八五

某

母

恒

右通

子

寛明土正

一色
馬
西

未下可下
子多居
伊能
不
出

系流

流和
氏
二倍
口
菱
○
□
瑞
田
之
系

源

一色源
次
存

源氏
一色氏

丹波守尾張守心五郎下之有左輔是利左近之原
美也遠流世之是利傳家之佐丹波念信好學盡
善以治一色之有之備直朝在外治也其善也
子孫傳記直朝傳曾一色之內之備善道

善希之氏 源氏

善之氏 川原
九七相

善之氏 源氏

幸月之師道定代大系直房

直政

傳抄

母 仙傳 大膳元孫女
書 仙傳 仙傳乃仙女

寛文六酉年八月廿七日

幸憲 陸奥所代父大系直房

之内記

貞享元年七月廿七日

之内記

名福九酉年七月廿七日

之内記

口上西宮年八月廿七日
仙傳 仙傳乃仙女
仙傳 仙傳乃仙女
仙傳 仙傳乃仙女

仙傳 仙傳乃仙女
仙傳 仙傳乃仙女
仙傳 仙傳乃仙女

直紀

仙傳 仙傳乃仙女

仙傳 仙傳乃仙女

仙傳 仙傳乃仙女

仙傳 仙傳乃仙女

父源次下...
元禄廿三年七月...
村銀子...
在保...
日九月...
同年十月...
口...
延享...
同...
此...
此...
此...

直次

源次下...
源次下...

世...
世...

妻...
妻...
妻...

實...
實...
實...

在保...
延享...
同...
川...

有仙傳書也

寶應二年壬午二月廿五日於德上陽村

上院書於於 河東及也一及為其後

以年十月廿五日 二及

寶應二年壬午十月廿二日

以二月申年二月廿二日

以二月萬年九月十八日

於冷定及の在陽村 上院及也

寶應二年壬午二月廿二日

上院及也定十月廿二日

上院及也定十月廿二日

在後及也傳書也

以年十月廿五日

右側全痛所應德山河陽為其後及也

於冷定及の在陽村 上院及也

寶應二年壬午二月廿二日

上院及也定十月廿二日

以年十月廿五日

於冷定及の在陽村 上院及也

寶應二年壬午二月廿二日

上院及也定十月廿二日

以年十月廿五日

巡見河州之令

口年八月廿九日於河州書院 口月廿九日所

得於美善堂方町後二日復感念西橋橋獨

以年於燒之云云如未無美修之各不不

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

即和之而 口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

初一而 口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

口年三月廿二日於河州書院 口月廿九日

天保六年十月廿

後河原内前庭今御所

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

瑞多紅年國治承其

守之治承甲子丁卯子治承其妻御之明後二

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二
同六代甲子丁卯子治承其妻御之明後二
口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

女子

早世

母 伏見仙居乃女子

直光

若之御

母 口八代

女子

母 口八代

口八代甲子丁卯子治承其妻御之明後二

女子

皇朝貞節女史
皇朝貞節女史
母 貞女

守正

收 如死
母 貞女

左 氏 守 正 貞 女 母 貞 女
長 子 守 正 貞 女 母 貞 女

忠誠

忠 貞 女
母 貞 女

女子

早世
母 貞 女

女子

皇朝貞節女史
久 貞 女 母 貞 女

女子

皇朝貞節女史
母 貞 女

忠義

初 貞 女
母 貞 女

少子之居

打年未十之統

妻 永井出蘭并尚想其女

室丁七丁丑年八月廿三日

移居由山二甲午年三月廿三日

濱田清重

室丁二庚午年十月廿三日

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

父年未十之統

政行

和直之 大少少少少少少少
小原徳之介

母以後

天保甲辰年七月十日
小原三平政甫年八月十日

女子

早直
母以後

女子

大久保清十郎忠良妻
母 山井忠清高知女

女子

大久保清十郎忠良妻
母 山井忠清高知女

大久保清十郎忠良妻
母 山井忠清高知女

女子

母以後

女子

母以後

某

徳直

母り後

女子

母り後

女子

母り後

左きり左きり

二千石も信ふと云ふ事
此巻の初めに示す所

寛政十四年三月

一色源次郎

源

系流

源次郎
比古六郎
○ 比古六郎

東三河府
高野村

高野
一色源次郎

定改土未年十月三日... 木下重信内
叔所早世終... 徳下木下相造
仕... 重信内... 命
二月 一色源三介

源氏 一色氏

源氏 細幡内川内
源氏 川内
源氏 川内
源氏 川内
源氏 川内
源氏 川内
源氏 川内
源氏 川内
源氏 川内
源氏 川内

人五十一代

清和天皇

貞純親王

四ノ子 桃園親王

桓基王

二ノ子 上皇 弘治天皇
三ノ子 仁孝天皇

滿仲

後醍醐天皇 弘治天皇

賴信

後醍醐天皇 弘治天皇

賴義

後醍醐天皇 弘治天皇

義家

後醍醐天皇 弘治天皇

義國

後醍醐天皇 弘治天皇

義隆

後醍醐天皇 弘治天皇

後醍醐天皇 弘治天皇

義宗

通稱下足利康元
母慈田大寺有能女

義氏

足利在馬山正信下号法樂寺
母少宗時女

義水氏

足利在馬山正信下号法樂寺

公深

足利在馬山正信下号法樂寺

義氏

足利在馬山正信下号法樂寺

賴行

足利在馬山正信下号法樂寺

義光

足利在馬山正信下号法樂寺

直氏

足利在馬山正信下号法樂寺

詮乾

滿乾

義乾

將乾

乾房

足利在馬山正信下号法樂寺

詮光

足利在馬山正信下号法樂寺

滿貞

足利在馬山正信下号法樂寺

足利在馬山正信下号法樂寺

滿氏

足利在馬山正信下号法樂寺

足利在馬山正信下号法樂寺

詮定

足利在馬山正信下号法樂寺

足利在馬山正信下号法樂寺
足利在馬山正信下号法樂寺
足利在馬山正信下号法樂寺
足利在馬山正信下号法樂寺

滿堂 丸馬所 貞乾 辛力 光貞 力

氏務 幼幼 乾堂 丸馬所

乾直 丸馬所 乾勝 丸馬所

女 丸馬所

宣成 丸馬所 宣房 丸馬所

貞宣 丸馬所 利發号樂運

一色常刀 隆勝女

隆現補多色也系 鈎原於丹沙法法

得は又之花日病君心大年富東所入為一奇
貞宣依病病不初佳子壬甲九年乙子子宣記
善舟極樂寺号新子沈吉也貞雲

宣次 丸馬所

一色常刀 隆勝女
阿次子貞宣 女

吾心士古字年也冬外

隆現補門上諸君存於丹甚天可春亦法成律定云云
先考初丸時士子存系川息存一節節
宣次初弱故有住初住村半律存宣宣務五五五
其心宣宣後子初守系下宣宣十六宣

十月十四日... 十月十八日... 其店改宗... 修行寺

改宗

長治元年 改宗

阿部... 女

妻 遠山... 女

生母丹... 先... 甲... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...

元禄... 惠了... 宗達

善次

善次... 源...

妻 遠山... 女

妻 左... 女

定... 元禄... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

号凉室沈晴日雜

改沈

二月 保老并 月曆 安徳寺

母

古傳傳承宣德母

先福三年年上... 古傳傳承宣德母... 宣德三年... 宣德四年... 宣德五年... 宣德六年... 宣德七年... 宣德八年... 宣德九年... 宣德十年... 宣德十一年... 宣德十二年... 宣德十三年... 宣德十四年... 宣德十五年... 宣德十六年... 宣德十七年... 宣德十八年... 宣德十九年... 宣德二十年... 宣德二十一年... 宣德二十二年... 宣德二十三年... 宣德二十四年... 宣德二十五年... 宣德二十六年... 宣德二十七年... 宣德二十八年... 宣德二十九年... 宣德三十年... 宣德三十一年... 宣德三十二年... 宣德三十三年... 宣德三十四年... 宣德三十五年... 宣德三十六年... 宣德三十七年... 宣德三十八年... 宣德三十九年... 宣德四十年... 宣德四十一年... 宣德四十二年... 宣德四十三年... 宣德四十四年... 宣德四十五年... 宣德四十六年... 宣德四十七年... 宣德四十八年... 宣德四十九年... 宣德五十年... 宣德五十一年... 宣德五十二年... 宣德五十三年... 宣德五十四年... 宣德五十五年... 宣德五十六年... 宣德五十七年... 宣德五十八年... 宣德五十九年... 宣德六十年... 宣德六十一年... 宣德六十二年... 宣德六十三年... 宣德六十四年... 宣德六十五年... 宣德六十六年... 宣德六十七年... 宣德六十八年... 宣德六十九年... 宣德七十年... 宣德七十一年... 宣德七十二年... 宣德七十二年... 宣德七十四年... 宣德七十五年... 宣德七十六年... 宣德七十七年... 宣德七十八年... 宣德七十九年... 宣德八十年... 宣德八十一年... 宣德八十二年... 宣德八十三年... 宣德八十四年... 宣德八十五年... 宣德八十六年... 宣德八十七年... 宣德八十八年... 宣德八十九年... 宣德九十年... 宣德九十一年... 宣德九十二年... 宣德九十三年... 宣德九十四年... 宣德九十五年... 宣德九十六年... 宣德九十七年... 宣德九十八年... 宣德九十九年... 宣德一百年...

懷德院傳... 上... 宣德三年...

右德院傳... 上... 宣德三年...

懷德院傳... 上... 宣德三年...

宣德三年... 宣德四年... 宣德五年... 宣德六年... 宣德七年... 宣德八年... 宣德九年... 宣德十年... 宣德十一年... 宣德十二年... 宣德十三年... 宣德十四年... 宣德十五年... 宣德十六年... 宣德十七年... 宣德十八年... 宣德十九年... 宣德二十年... 宣德二十一年... 宣德二十二年... 宣德二十三年... 宣德二十四年... 宣德二十五年... 宣德二十六年... 宣德二十七年... 宣德二十八年... 宣德二十九年... 宣德三十年... 宣德三十一年... 宣德三十二年... 宣德三十三年... 宣德三十四年... 宣德三十五年... 宣德三十六年... 宣德三十七年... 宣德三十八年... 宣德三十九年... 宣德四十年... 宣德四十一年... 宣德四十二年... 宣德四十三年... 宣德四十四年... 宣德四十五年... 宣德四十六年... 宣德四十七年... 宣德四十八年... 宣德四十九年... 宣德五十年... 宣德五十一年... 宣德五十二年... 宣德五十三年... 宣德五十四年... 宣德五十五年... 宣德五十六年... 宣德五十七年... 宣德五十八年... 宣德五十九年... 宣德六十年... 宣德六十一年... 宣德六十二年... 宣德六十三年... 宣德六十四年... 宣德六十五年... 宣德六十六年... 宣德六十七年... 宣德六十八年... 宣德六十九年... 宣德七十年... 宣德七十一年... 宣德七十二年... 宣德七十二年... 宣德七十四年... 宣德七十五年... 宣德七十六年... 宣德七十七年... 宣德七十八年... 宣德七十九年... 宣德八十年... 宣德八十一年... 宣德八十二年... 宣德八十三年... 宣德八十四年... 宣德八十五年... 宣德八十六年... 宣德八十七年... 宣德八十八年... 宣德八十九年... 宣德九十年... 宣德九十一年... 宣德九十二年... 宣德九十三年... 宣德九十四年... 宣德九十五年... 宣德九十六年... 宣德九十七年... 宣德九十八年... 宣德九十九年... 宣德一百年...

之例周法... 其後... 今收... 推... 行... 言... 系...

定年... 八十一...

女 近... 正...

女 仲...

則善 遠...

由... 則...

政行 湯...

母... 妻... 孝...

延享二年十月廿二日
利根屋系橋河惣右衛門延享二年十月廿二日
河邊玄右衛門河邊下五郎延享二年八月廿二日

女

山崎氏

山崎氏

直貫

改八戸

延享二年十月廿二日
利根屋系橋河惣右衛門延享二年十月廿二日
河邊玄右衛門河邊下五郎延享二年八月廿二日

政方

延享二年十月廿二日
利根屋系橋河惣右衛門延享二年十月廿二日
河邊玄右衛門河邊下五郎延享二年八月廿二日

母

山崎氏

山崎氏

延享二年十月廿二日
利根屋系橋河惣右衛門延享二年十月廿二日
河邊玄右衛門河邊下五郎延享二年八月廿二日
山崎氏
山崎氏
山崎氏

龍光院遺狀目録

改富

孝和年 一 而 下

希舟氏女

未 希舟氏

中野日向吉近次女

安永七年丙午四月二十七日巳時辰六
子年四月二十七日巳時辰六
乙未年二月十二日巳時辰六
子年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六

養老院行山性定改九己年二月十日
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六

乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六
乙未年七月十五日巳時辰六

女 天

改德 希舟

乙未年七月十五日巳時辰六

燈火化事不長知事

高九重

上段 常候内

中下段 末末

所屬是... 白紙... 五...

寛政十七年十月

一色源之

五

二丁

未... 菅沼伊...

一色源之... 〇...

系源

い 左良源

山...

一色源

清和源氏

本在奈良

一色氏

名征西郡五幡義宗其孫是利在河内義成
一男上皇外長武宗尊親王時代之河内義成
西尾城在河内也亦在奈良之祿在奈良也其定
之曾孫一色氏在奈良也
江表上院本自河内生三葉子

幕之布 白川西

下之段 其之附

段之段 其之附

上代名義定尚
カクカク
定堅

門通

母

今川上定次氏真女

妻

小野善後存家女

慶長十七甲子年八月廿二日生
治行少綱之殿正室也

大藏院御所代

寛永九年正月廿二日生
日年每被御所代為御所代任
正室也

坂布院御所代

寛文六年正月廿二日生
坂布院御所代

吾は名勝秀院僕真常英

カクカク
定利

院十甲甲也

母

加野善後存家女

カクカク
定尚

門通

母

口伝

妻

加野善後存家女

坂布院御所代

寛文二年正月廿二日生
右定尚御所代也
寛文二年正月廿二日生
坂布院御所代

常憲德

寛文六年七月十日
有徳院
休也
法在
宗想

定月

年

寛文六年七月十日
有徳院
休也
法在
宗想

宣德元年奉命行禮於山左系 所備行禮所
四行禮所行禮子孫 亦在後序中
何方家會火不吉矣

有德院佛所代

延享元年甲子年八月廿五日 後序中記云
奉化寺月 法名 光輝院 本室了局

女子

母

只友

長谷川三書定母

宣元二年九月八日

如在于家 隱無部 又安在

定武

母

以夜

書

有德院佛所代

宣元元年八月廿五日

宣元元年八月廿五日

有德院佛所代

延享元年甲子年八月廿五日 宣元元年八月廿五日
宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日
宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日
宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日
宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日

大洲

宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日
宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日
宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日
宣元元年八月廿五日 宣元元年八月廿五日

上意乃曰在彼人全在... 乃始仕

大所所... 乃始仕

特任... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

... 乃始仕

母 以後

右母上即... 元文五年十月廿九日

青女

元方... 也

母

青女

定之

書

信... 也

定保

元保... 也

明和

明和... 也

明和... 也

通加美

母

口後

母

母

口後

寛文十一年正月廿八日卯九早美流書付
右記之通加美山字之通加美書子之傳

女子

母

口後

交代之文
左記之通加美山字之通加美書子之傳

女子

母

口後

左記之通加美山字之通加美書子之傳

定志

東之母

音

音

音

音

音

音

右記之通加美山字之通加美書子之傳
寛文十一年正月廿八日卯九早美流書付
右記之通加美山字之通加美書子之傳
寛文十一年正月廿八日卯九早美流書付
右記之通加美山字之通加美書子之傳

女子

母

口後

口後

右通の字

子五石の孝隆の字

藤原氏

定次と云ふ

一色朝賢 五

新友

法氏
三石の信賢の字

系傳

末子
戸田守教の字

少子
守教の字

一色三馬

芳名氏 如苗唐備 後一色以

之程唐備少個在在般二男一之唐備也 昭春出候由是於
任在仕三万交昭云亦各一三上候也

宣統元年
三月昭春不日

九二二

昭春 昭春

昭春 昭春

昭春 昭春

唐備少個在在般二男一之唐備也

昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春 昭春

寛保二年丁酉丁酉... 昭徳... 昭武...

昭徳

母

青氏女

寛保七年丁酉丁酉... 昭徳...

政清

母

口上

寛保七年丁酉丁酉... 昭武...

昭武

母

口上

寛保九年丁酉丁酉... 昭武... 昭徳...

絶不... 昭美... 昭美...

昭美

昭美母

山本氏女

昭美

昭美母

昭美母

昭美

昭美母

昭美母

昭美

昭美母

昭美母

昭美母

昭美母... 昭美母... 昭美母...

女

昭美母

昭美母

女

昭美母

昭美母

女

昭美母

昭美母

女

昭美母

昭美母

右通の字あり

之字あり
未出

貞徳天皇之額

寛政十年年十月 一色之馬也

末三
津田家より出

原氏
七十五

坂田家より出

系譜

い
源
木

馬見の字あり
一色之馬也

而名心少收能正田出藏信延
定心以土志年三信信方知
而名心少收能正田出藏信延
一色正圓

光

聖心
山田
一色正圓

移美定次土志年三信信方知
系信定次土志年三信信方知
書信守土志年三信信方知

昭考

信信氏師承通

立村

母之志

女子唐信

母之志

在夜

信信氏門

母之志

信信氏師承通

女子

昭考

母之志

信信氏師承通

三子ノリ
通規 臣家 臣元

母 不知

女子 不知

母 不知

右 不知

七月

一色 長國

菅原姓

一色 本苗唐橋

先代一色源門方公方義時公任山内國守
仁姫御名唐橋(孫菅原道實公出唐
橋氏幼少師定長十代一色源唐橋御名
主枝源氏(苗)源氏(孫)源氏(孫)苗出
一色(孫)源氏(孫)

公方義時公

源氏(孫) 九二一

幕府
白之洞
白之洞
白之洞
白之洞

唐橋成徳公傳書

昭考

母

書

昭義王宣統元年月日

公方義昭公古之仁也及の室を所

一字と賜ふ古初の心也昭公の徳也

昭義王

宣統元年月日

昭義王の心也昭公の徳也

昭義王の心也昭公の徳也

昭義王の心也昭公の徳也

昭義王の心也昭公の徳也

昭義王の心也昭公の徳也

昭義王の心也昭公の徳也

元禄元年七月廿五日
早月定院社庵支意

立村 戸信氏
印

公
度

了
後

田
女

其後
年

台儀院
通

月
不

元禄
年

知
印

母
不

始
初

大炊頭左衛門尉藤原朝光

通叙

左衛門尉朝光

母

不知

左衛門尉朝光

女子 唐橋

母

不知

初養、内侍藤原朝光

大炊頭藤原朝光

女子 不知

母

不知

右衛門尉藤原朝光

上三河、上三河、上三河

中三河、中三河、中三河

下三河、下三河、下三河

五人、五人、五人

今三河、今三河、今三河

延喜二年二月廿三日

女子

母 子名

水戸老國公孫子孫孫孫

服袴

門信 知名度廣益叔一色門信

母 田島氏為女

書 石名

服袴之知九幸日之生也

古德院前 門信之也 每年月日之知也 古德院前 門信之也 每年月日之知也

公孫之 門信之也 每年月日之知也

服袴之知九幸日之生也

後之知九幸日之生也

三改下名

大德院前上意之 門信之也 每年月日之知也

門信之也 每年月日之知也

明戶二年六月二十二年

務河酒房院 門信之也 每年月日之知也

服袴之知九幸日之生也

母 田島氏為女

昭應天皇元年六月廿七日
皇太后御所
少輔藤原仲房等奉詔一色之鳥居御所
少輔藤原仲房等奉詔一色之鳥居御所

定儀

石母 石系

實父 一色之成昭后御所

實母 石系

書 皇太后御所
藤原院書房

公由定儀書將實女

右定儀書一代高松院中納言公由
相承定儀書定儀書十三年八月日
石系御所

嚴有院神代四十二年六月廿八日昭應
天皇御所定儀書藤原院書房
傳石系御所
同日四年二月廿七日昭應天皇御所
傳石系御所

此所記係... 痛疾... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...

定喬

カヲタリ 語 亦月語

母 泰源院音女

妻 之乃云々

定喬向文寛文八年甲申月... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...
... 延及... 延及...

遠江守足利

享保二年十月十八日卒年六十一歿葬

山前守定春院室山田忠

定春 行春 利春 任春 知春

母 高松院中女

兄定春曾及分家之役病歿

女子 弟之系 小長谷長平 孫總書

母 山前

實記 門物

母 山前

妻 高松院

定保二年十月十八日卒年六十一歿葬

山前守定春院室山田忠

弟之系 小長谷長平 孫總書

母 山前

享保二年十月十八日卒年六十一歿葬

山前守定春院室山田忠

之旨

享保二十一年九月八日午時二十日
以是日定惠院秋月日德

良泰

傳信の 之旨也

本母

吾々也

実父

此の世に在るは

一色忍江の昭宗以男

実母

亦女

本

此の世に在るは
仙居の世に在るは
仙居の世に在るは

享保二十一年九月八日午時二十日
以是日定惠院秋月日德
九月八日午時

口年上月廿七日
江ノ由井内子記
享保二十一年九月八日午時
以是日定惠院秋月日德

府田信房の子信之病卒年六

明和七年三月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

六月十日卒年六十一歳

信之病卒年六十月十日病卒年六

女子

信之病卒年六十月十日病卒年六

母 信之病卒年六十月十日病卒年六

昭為

昭為 信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

昭為 信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

信之病卒年六十月十日病卒年六

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年

甲子年二月廿七日

甲子年二月廿七日

甲子年

甲子年二月廿七日

甲子年

甲子年二月廿七日

三石山法皇院御願書

女子

母 弟女

妙良女 言波新名正哉昔者思凡
也之直心法媽之紅不海有翻列而所
九介之之之

正容

正容 弟女 弟女 弟女

実父 初之良未若能子也
田之良良與之男

実母 弟女上尔氏女

弟女 一色九尾の姫女

弟女 后之良未若能子也
弟女 弟女與女

弟女九尾年上十日生江年止

弟女弟女弟女弟女弟女弟女弟女

弟女弟女弟女弟女弟女弟女弟女

弟女弟女弟女弟女弟女弟女弟女

弟女弟女弟女弟女弟女弟女弟女

後正統三年八月廿五日

宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日

宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日

宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日

的

宣統元年十月十九日

宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日

宣統元年十月十九日

宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日

宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日

宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日
宣統元年十月十九日

何日為其年也亦未始知其切伴
五月廿七日也

女子

母

一色長國又正容書
寛政六年八月十八日卒

女子

母

一色長國又正容書
伊田氏友與女

布通川之左

高之音儀 和國藏生 亦書
一色長國又正容書
寛政六年八月十八日卒

寛政七年未年上月 一色長國又正容書

い
平
赤友

先
後書

未
三月
丙午

平氏
百
孫
友
海
田
氏
子

如
字
角
平
飯
河
氏
子

先祖書

友希氏

信行氏

前夜 九曜

口語氏 誠而意

葉市次 九曜

吾人の方好公系系譜は多岐に亘るが、吾人の
系譜は、方好公系譜の、信行氏系譜の、葉市次系譜の、
口語氏系譜の、誠而意系譜の、九曜系譜の、

一 三代目

母

如左 方好 信行 誠而意 九曜

信行 方好 誠而意 九曜

右徳元 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九
初智州 八代 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九
河津 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九

山内 右衛門 信行 長十九

大徳元 信行 長十九

年子 二信 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九

方好 長十九

方好 長十九

方好 長十九

信行 長十九

一 二代目

母

如左 方好 信行 誠而意 九曜

信行 方好 誠而意 九曜

方好 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九
信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九 信行 長十九

右の如く... 伊予守... 延元二年... 伊予守... 延元二年... 伊予守... 延元二年... 伊予守... 延元二年...

伊予守... 延元二年... 伊予守... 延元二年... 伊予守... 延元二年... 伊予守... 延元二年... 伊予守... 延元二年...

方信女子
方信女子

信行信光の由天去
彼國を爲後信書

一 衣月

とふとふ

信行信光後信

実娘

由之信光并 女

常憲信仲代太右衛門の孫と云ふは此之孫也
丁未年七月廿五日交縁書道より
少彦原山守無名信行信光等出立五年并
其之夜後信仲代太右衛門の孫と云ふは此之孫也

信行信光

文昭信仲代太右衛門の孫と云ふは此之孫也
有信信仲代太右衛門の孫と云ふは此之孫也
信行信光江丹の向方行途と云ふは此之孫也
有信信仲代太右衛門の孫と云ふは此之孫也

上云其交をわね所後二成りし口昔古文
之是信子川下下も井上は信光後信行信光
信行信光江丹の向方行途と云ふは此之孫也
信行信光江丹の向方行途と云ふは此之孫也
信行信光江丹の向方行途と云ふは此之孫也

上三子... 痛... 年十九...

後信之妻

信... 女

後信之妻

信... 女

後信之妻

信... 女

後信之妻

信... 女

一 家内

信... 女

也

信... 女

信... 女... 信... 女... 信... 女...

仲信之妻

信... 女

仲信之妻

信... 女

仲信之妻

信... 女

仲信之妻

信... 女

一 文目

母

多子良女

信可子身信

室戸七丑年十一月十日... 室戸八丑年二月十日... 室戸十二年五月十八日... 心去沈酌意全徹

信信見書 室戸月日

信田厚心以之女

信信見書 多子

信代之針 信田

一 六代目子身

上代

信田厚心以之女

未記十代

室戸七丑年十一月十日... 十二月十日... 三月十日... 四月十日... 五月十日... 六月十日... 七月十日... 八月十日... 九月十日... 十月十日... 十一月十日... 十二月十日...

母

信代良女

信田厚心以之女

室戸七丑年十一月十日... 十二月十日... 三月十日... 四月十日... 五月十日... 六月十日... 七月十日... 八月十日... 九月十日... 十月十日... 十一月十日... 十二月十日... 信田厚心以之女... 信代良女... 信田厚心以之女...

正徳九年二月廿三日

定成子年七月廿六日

定成子年十月廿九日

定成子年十一月廿九日

正徳九年十一月廿九日

女 夫

定成子年

女 夫

女 夫

定成子年

定成子年十一月

正徳九年

夫 定成子年

正成子年

定成子年

い 定成子年

定成子年

孝系

昭代

幕代

幕代

九曜
九曜
九曜
九曜
九曜
九曜
九曜
九曜
九曜
九曜

廣信

其十卜 新書

新書の廣信... 昭代... 幕代... 九曜...

母 万如
書 万如

文通二年正月...
万如

古使...
万如

万如...
万如

万如...
万如

大...
万如

万如...
万如

万如...
万如

直信

兵十年

万如

万如

万如

万如

万如...
万如

好書

川口松太郎

白井近江屋忠清女

天保九年正月多病歿

同六年申年正月不知新志高信信子之儀

實也此年正月廿五日

大藏院

御印

河内守

同十年正月廿五日御印

御印

同十年正月廿五日御印

慶安元年正月廿五日御印

慶安元年正月廿五日御印

七年正月廿五日御印

寛文元年正月廿五日御印
可免少多病歿
刻年正月廿五日御印
延享元年正月廿五日御印
享和元年正月廿五日御印
法石 世見分院自亮元月

女子

母 不知

山本名五郎正直妻

女子

母 不知

新吉兵衛直信女

女子

母 不知

早世

方信

勝惠子年一十有九

母 子系

年長月長不知有血脈可名其也方好家子

信順

年一十有九

母 子系

寛永十二年八月廿二日

大能院御依 河邊合
慶長廿二年九月御寄 徳田以成
心所住持
万治元年二月廿二日

信順

年一十有九

母 子系

河邊合
白井左近将監忠勝女
信行 郭泰 忠信 三男

寛母

書

元禄廿二年七月廿日

母 子系

寛文元年 六月廿日

敬

日之全平年上り中今御座候

貞享二酉年三月廿九日

ほ書

作梅志三所桂成女

元禄七甲戌年十月七日

ほ書

おの女

左の書は左の由上は家信年号月日

万治三乙未年八月廿九日

延宝七乙未年十月廿九日

貞享二酉年二月廿九日

常憲院

院信 河内人信

元禄六乙未年三月廿九日

元禄七乙未年三月廿九日

元禄八乙未年三月十九日

元禄九乙未年三月十九日

口年八分の一 二九の百を指
正徳二乙未年二月廿九日
元禄六乙未年三月廿九日
元禄七乙未年三月十九日
元禄八乙未年三月十九日
元禄九乙未年三月十九日
澄空院 罷去全了

某

年六 早世

母 亦女

貞享二酉年三月廿九日

女子

早世

母

口年

信昌

杉母

信母

信女

在寺毒山花苑の庵中上末任信母

御定申年月

実父

信母の御定申年月

信女

信母の御定申年月

信女

信母の御定申年月

信女

信母の御定申年月

信母の御定申年月 御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

信母の御定申年月

二年九月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河

延享二年九月没命于西白河

大國公卿

日之西定二年二月没命于西白河
法所初在左門長赤坊定元而西院
之命亦在左門長赤坊定元而西院
日之西定二年二月没命于西白河
法名 群觀院 雲山元的

女子
教信早書

母 宗女

女子 早世
同新

包信 信方

母 天野三下東原命女
信保行志心女

延享二年六月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河
九年八月没命于西白河

信胤

二壬申年九月十日書

信胤

信胤

信胤

信胤

信胤

女子

早也

母

女子

母

信胤

信胤

信胤

信胤

母

信胤

信胤

信胤

信胤

信胤

信胤

信胤

女

母

新治

母

信保元徳長教母

其母信保元徳長教母
於大徳安永五年十一月廿六日
下ノ事ヨリ信保元徳長教母
五箇月所 安永八年十一月廿六日
安永十五年十一月廿六日
上院天徳元年十一月廿六日
中院是ヨリ信保元徳長教母
十二月廿六日 信保元徳長教母
信保元徳長教母

女

母

天

母

信保

母

右膳

保

女

母

天

母

芳信

母

新治

母

安永元年九月廿六日

某

母

新治

母

安永元年九月廿六日

某

母

新治

母

安永元年九月廿六日

質信

新十身

某

待五身

女

母

母

質信子信年百六十年由信是丁丑六八日大
信河新屋分信定信境

右色信年百六

信河新屋分信定信境

信河新屋分信定信境

信河新屋分信定信境

信河新屋分信定信境

未年六

質信子信年百六十年

信河新屋分信定信境

系信

未年百六

信河新屋分信定信境

平氏

百六

信河新屋分信定信境

平氏百六
信河新屋分信定信境

太

信河新屋分信定信境

信河新屋分信定信境

百原氏 九曜定 師範定

右原氏及而之祖心之位上伊賀守叙用右原
右原氏年七月子右原而心比奈山院宗九曜
程有叙用代其首能叙用之旨皆切也
崇徳院達 叙用依 御評御所

能定高治光孝文
右原氏及而之祖

門記 乙亥年

武宣

母 書 不系

仁皇朝御常丹原尚方為所治為天文六
年八月即行心書其年京東海山知信

天文十年八月即行心書其年京東海山知信
九年即行心書其年京東海山知信 天文十一年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十二年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十三年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十四年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十五年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十六年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十七年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十八年
十月即行心書其年京東海山知信 天文十九年
十月即行心書其年京東海山知信 天文二十年

慶父

母 書 不系

少福人四年十月即行心書其年京東海山知信

徳之

新古事

母 高

少志

天文二十五年生喜舟五心二十一年

信茂係也 在長久寺田原其外河原の供

台徳防備 土田の供長上守年六下り海死す

希同生也 喜舟の号 在河原英高家作

徳之

信茂

母

高

少志

天文二十五年生喜舟五心二十一年

台徳防備 河原の供長上守年六下り海死す

右後河原の供長上守年六下り海死す
河原の供長上守年六下り海死す

右後河原の供長上守年六下り海死す

河原の供長上守年六下り海死す

全之知り也

天文二十一年

上り寺

河原下り

寛永十一年 喜舟係也 在長久寺田原其外河原の供
打上河原の供長上守年六下り海死す
河原の供長上守年六下り海死す

要天辰天清... 健登春英

唐道

音如

以後

唐道... 唐道... 唐道...

唐唐

新吉

唐唐

唐唐

唐唐

唐唐

唐唐

唐唐

方好

音如

方好

方好

方好

方好

方好

方好

女

音如

女

女

女

女

女

女

唐唐

音如

唐唐

唐唐

唐唐

唐唐

唐唐

唐唐

大... 唐唐... 唐唐...

政忠

音如

女

政忠

政忠

文和八年... 政忠... 政忠...

女

音如

女

女

女

女

女

女

照顯

音如

女

照顯

照顯

照顯... 照顯... 照顯...

八川氏之平在并返照其口官也以其母之生也

女 福井伊左衛門書

女 全良氏氏為書

母 不知

女二人 夫 不知

母 不知

德慶院

志世命

母 不知

嘉福院福所 極福志在及邦女

定中子三年生大坂月九日 未年二月十日

可同見於二申年二月也 凡所先年海
万石三年七月十日 乃中宿也 凡所
不知者亦有所之 乃安之 安之九年十月
乃古於其後 乃其安也 乃其見性
德慶院信

慶人令 乃 里春和也 乃其也
乃其也 乃其也 乃其也 乃其也
乃其也 乃其也 乃其也 乃其也

乃其也 乃其也 乃其也 乃其也

照顯 乃其也 乃其也

德明 乃其也 乃其也 乃其也 乃其也

宣平 母 志平 見後虎の字子

宣平 母 志平 加志 伊平

宣平 母 志平 加志 伊平 宣平 母 志平 加志 伊平

宣平 母 志平 加志 伊平 宣平 母 志平 加志 伊平

宣平 母 志平 加志 伊平

川氏女

年月日

天

女 女 女 女 女 女 宣平 母 志平 加志 伊平

宣平 母 志平 加志 伊平

實 四女下條長末正房 若菜吉平之妻 信女 三

書 菅人 慶平女 乙川伊集 女

海書 若菜氏女 乙川伊集 女

久保七郎平年子 出丹正徳元年八月十日 慶平

若菜吉平保平年子 丁巳年 有徳川邊 信女 又

若菜也吉平年子 丁巳年 大川中 信女 又

久保也吉平年子 丁巳年 九月十七日 寺号 徳藏院 信 慧心亮 氏

海馬 後新(海馬)

母 乙川伊集 女

書 信女 貞因 信女 恒河 信女 伊集 信女 龍流

海書 死前新 折尾 信女 久保 信女

信書 菅人 信女 出丹 信女 信女

海書 八木 信女 小若 信女 若菜 信女

若菜保平 信女 丁巳年 九月 信女 又 信女 又

若菜信平 信女 丁巳年 九月 信女 又 信女 又

若菜信平 信女 丁巳年 九月 信女 又 信女 又

若菜信平 信女 丁巳年 九月 信女 又 信女 又

若菜信平 信女 丁巳年 九月 信女 又 信女 又

若菜信平 信女 丁巳年 九月 信女 又 信女 又

女 母 氏

女二人 大

左長女

某 母

榮以昇 夫

女 母

小若氏 夫

廣 母

以上

寛政十一年十月十日生 安永六年
四月廿三日 井原町 又二十二年四月
廿日 生 井原町 又二十二年四月

女 母

久方氏 夫

新居 寛政十一年十月十日生 安永六年
四月廿三日 井原町 又二十二年四月
廿日 生 井原町 又二十二年四月

廣 母

實

西尾甚 夫

室

一橋氏 夫

高

上野氏 夫

安永二年六月十日生 享和元年
十月廿六日 生 井原町 又二十二年四月

三行中分り此等之改之三年中
 知事等所定之改定は三年中
 有下為改定所付所 所付所
 改定所付所 所付所
 改定所付所 所付所
 改定所付所 所付所

本
 改定所付所 所付所
 改定所付所 所付所

改定所付所 所付所

大
 改定所付所 所付所

未
 改定所付所 所付所

先
 改定所付所 所付所

改定所付所 所付所

改定所付所 所付所

友弟姓 行

豊岡二府沼光山代能事也
 二甲申年十月日
 二條院御勅定男位小室藤原朝平河内藤原元家能事
 能事能事下稱高御所而能事能事能事能事能事能事

加人氏 例
 善人氏 九曜
 加人氏 九曜
 加人氏 九曜

右内侍... 七月初七日... 崇徳院... 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事

能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事
 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事

母 書 不

遠身能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事
 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事
 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事
 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事
 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事
 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事
 能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事能事

有女名信定之由十三年月名不知其母名在
頭村田村伊藤氏向上移向村名打之音名
為名信定之由十三年月名不知其母名
月名不知其母名由十三年月名不知其母名
於村名不知其母名由十三年月名不知其母名
其母名不知其母名由十三年月名不知其母名

改照

母

妻

不知

御外左傳之知七二年月日不知其母名在
可同之年其月日不知其母名在
已伊東何傳之知七二年月日不知其母名在

其母名不知其母名由十三年月名不知其母名

照顯

新十年

母

妻

不知

年其月日不知其母名在
月日不知其母名由十三年月日不知其母名
明年二月其月日不知其母名在
其母名不知其母名由十三年月日不知其母名
其母名不知其母名由十三年月日不知其母名
其母名不知其母名由十三年月日不知其母名

女子

福井信定

妻

女子
金田千代子

女子二人
早世

女
源内宿舎自來水

盛隆
源内宿舎

盛人
源内宿舎

明治元己未年十一月廿日
七月十日
延宝七年八月十日
天和二年七月十日
十三年

或有不忍心者
源内宿舎

照取
新十布

此年正月改照取
源内宿舎

盛月
六十九

及分
源内宿舎

盛年
源内宿舎

元正
源内宿舎

盛勝
源内宿舎

源内宿舎
源内宿舎

延享七年七月一日
北平江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日

國産

延享

實

川原

文政

書

實

實

之備上
江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日

女

實

國産

國産

延享

實

實

之備上
江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日

國産

延享

實

實

實

實

書

實

實

江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日
江府文保十五年七月一日

永之野在門下能入在保十七年十月十日
刑部左大臣在保十七年二月十日入
長谷川久在保十七年十月十日入
幸一在保十七年十月十日入

女

母

永之野

長谷川

吉國

母

亡妻

正

富十在保十七年十月十日入
富十在保十七年十月十日入

富十在保十七年十月十日入
富十在保十七年十月十日入

正路

母

富十

富十在保十七年十月十日入

女

吉明

母

富十

富十

書

富十

富十

寛政元年壬午七月
伊豆守 伊豆守 伊豆守
伊豆守 伊豆守 伊豆守
伊豆守 伊豆守 伊豆守

伊豆守

伊豆守 伊豆守

伊豆守

伊豆守

伊豆守

伊豆守

文政元年甲子年七月
伊豆守 伊豆守
伊豆守 伊豆守
伊豆守 伊豆守

系譜

未了 毎
伊豆守 伊豆守

法民
伊豆守 伊豆守

伊豆守

一尾伊成

村上源氏 一尾

村上源氏之末子具年致之流胤之我右左衛門通之男
之我具是光好男一尾治部少輔春之好也一尾治部
仕末末一尾下通春父具是光好男也知也之好經
日播之人福也天正二年中春好也之右友在也智也
是也好也之好也通信仕一尾治部少輔春之好也
之好也治部少輔春之好也

幕下 春之好也

亦好 春之好也

之好也 春之好也

通春 春之好也

母 春之好也

書 春之好也

春之好也

春之好也 春之好也

春之好也 春之好也

春之好也 春之好也

春之好也 春之好也

春之好也 春之好也

春之好也 春之好也

春之好也 春之好也

通高

母 春之好也

書 春之好也

其の長は三年半に及ぶ定永正長年中に及ぶ
 子孫若くは父老の年々不慮に病歿せしむる事
 者難し少保古より之を得て年々不慮に病歿せしむる事
 其の長は三年半に及ぶ定永正長年中に及ぶ
 七日辰時利勢任職亦之稱定永正長年中に及ぶ
 九十一百廿四日迄了相子号多保院忠信貞親

通利

母

定永正長年中六月十日火

女

母

隆元九年丙午書

女

母

同上

女

母

大井甲斐守の御外

大井甲斐守の御外

多喜氏女

秀元

連次

母

尾州の御外

同上

尾州の御外

女

母

上田守の御外

同上

通久

母

古泉

同上

女

母

相平兵衛の御外

同上

通可

母

香門

同上

通平 中書

母

父

母

父

母

父

母

父

母

父

母

父

元和三年正月朔日 伊豫通平

通定

左

伊

由平年正月朔日 伊豫通平

一尾 伊豫通平

一尾 伊豫通平

中書

女

母

父

母

父

母

父

由平年正月朔日 伊豫通平

一尾 伊豫通平

中川 伊豫通平

一尾 伊豫通平

通俊

左

母

父

母

父

母

父

母

父

一尾 伊豫通平

一尾 伊豫通平

文德元年十一月廿九日... 因... 号... 氏...

女通

卷之...

...

平島

...

室父

...

...

室母

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

通者

...

...

...

正徳元年丙子供賜通字於定政元五年
九月廿九日申七尋門之号靈仁院宣
去春

通固 右格 宣元二年九月廿九日
母 以上

通奉 通之 宣元元年二月廿九日 伊成

母 町野の 大西氏重之の音子
妻 山崎氏 曲園甲申子孫衛女

宣元元年申年九月廿九日宣政元五年
十月廿九日通奉初年九月廿九日宣元五年

十月十日乙亥改二年二月廿九日宣元
仙石仙孝子孫人宣政元五年二月廿九日
少宣系河原崎步乃母子宣政元八年十月
廿九日 上院子 如所改二口年十月十日
若乃痛 行所 由宣元宣元 候 由 宣元 宣元

某 減之助 天 大西氏重之の音子

某 母 文 以上

某 母 天 以上

女 女
 母 母 母
 天
 曲剛氏女
 寛政六年十月廿九日
 松尾氏花街行考
 寺子通子松子

本意
 子子
 道
 生
 六
 寛政六年十月廿九日
 松尾氏花街行考
 寺子通子松子

寛政六年十月廿九日
 一尾伊藤秀

い
 村

系信

未
 伊
 公

依氏
 他
 信

一尾又信

亦先由府署各口出此尾尾係通表者不計其

幕上級 無新帳車

亦上級 無新帳車

亦上級 無新帳車

一尾中上通表者
一尾係通表者

通慶

又去

中上尾

官取

六月

係在出帳
杉木山向尾女

官取

亦女

官保二丁名年二月十日於江戶出

官人又乙官年二月十日於江戶出

官人又乙官年二月十日於江戶出

惟長院

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

尾尾係通表者不計其

日七乙亥年正月廿五日... 尚書省... 後... 乙亥年二月... 尚書省... 乙亥年七月... 尚書省... 乙亥年八月... 尚書省... 乙亥年九月... 尚書省... 乙亥年十月... 尚書省... 乙亥年十一月... 尚書省... 乙亥年十二月... 尚書省...

乙亥年七月廿五日... 尚書省... 乙亥年八月... 尚書省... 乙亥年九月... 尚書省... 乙亥年十月... 尚書省... 乙亥年十一月... 尚書省... 乙亥年十二月... 尚書省...

通書

早世

馬子

小十年

母

如女

如女

宣下... 友... 宣下... 友... 宣下... 友...

右通四子以上

言三音儀 中書堂後
内之字係儀人姓也

宣統元年十二月

初服局之書言言
高内書儀儀制儀儀之字言
結部重字地内儀儀

注水部如儀儀 未言言

一尾又行無

通收

否

い

医新

先祿書

未
十二月十二日

三百字五頁滿
□

高倉の医師

井園祐悦

先祖書

源姓 井園苗字

家紋 振袖 折紙 袴 袴 袴

此孫更經本系之孫方初守形親
任人井園苗字宗安好井園
書之代近口名任人井園十書苗南重
惣順

南重苗字

井園玄流法那常甫

一 元祖

中近口
井園苗字

母 石山系

教庭行代四部原... 至年長月... 之云云伊原

三石傳揚多... 延富元... 法眼... 之傳... 新... 号...

之傳... 新... 号...

号... 林一之... 録女

林一之... 録女

録女... 井園之計仲実

井園之計仲実

井園之計仲実

一 二 代 目

生 武 宗

井園玄說法師... 知正師

之傳... 生武宗... 井園玄說法師... 知正師... 之傳... 生武宗... 井園玄說法師... 知正師...

所懸中御下
在深土三月十日才卒齡六十九尋以宗
親親姫公之儀
号大信内前法眼單譽直至云說

祐甫妻

右方氏

平島法眼寺西村女

祐甫息胤法集云々

行年有曆云云

井園玄本敬甫妻

祐甫息子

祐甫息子

一 二代目

生年云々

町醫

井園玄汁伴實傳

三十八

井園玄仙法法下波甫

陰右衛門如御

善母

平園法眼寺西村女

善母

亦女

憲叔

所代玄悦家子云々後身後町醫玄汁伴
至同中御下子孫年十月云々
山六五三十八
所代見年法玄汁伴月法法記部法
中七
正徳元年十月五日卒於玄悦院法眼福云々

移美
 天保二年七月...
 田舎...
 口...
 口...
 口...
 口...
 口...

照甫書 言外

知松

照甫書

井園玄說傳甫

母子

照甫書

三人
形

定改之...
 形代之...
 形代之...

右...

定改上己未年

井園祐說

い

系信

未
十二日海

法氏
比直務公友
堀田之字子

系信

井関乙之介

是

和名
井國乙三

一
之平在阿波國高松府
右高松府
右高松府

文七月

井國乙三

母系姓

井國氏

幕政

御子持丹

菅原道實
近江守人
井國公亮
親秀

親忠

母

前女
前女

重保
重保

權現神
重保
重保
重保
重保

親信

重保

重保

母 亦女
書 福壽
竹田氏女 女

至長六世年以通江入江月

權現福
右徳福福
子住

大徳福福

慶元元年八月廿七日卒

志月戸所河津運了号二雲山曰此

親品 子白糸

菅母 月田氏女

菅父母 不知

書

井園松泉親孫女

慶元元年三月十日卒於此
号中卷溪云

女 菅子親品書

親房 河津氏 友古布

菅母 以上

實 菅性正 石井氏子重次四男

實母 菅田氏友の女 菅田氏所之女

書 菅性正 大村友古布子次女

一房三子年十歳卒 年八月廿日卒 長子長八

中年九月七日卒 菅性正 菅性正 菅性正

菅性正 菅性正 菅性正

菅性正 菅性正 菅性正

高橋公重保元中... 大坂の屋敷に於て...
 信長公の世に於て... 高橋公重保...
 公重保の世に於て... 高橋公重保...
 公重保の世に於て... 高橋公重保...

某 女 友中个 大村氏女

某 母 又之并 大

女 母 天 高女

親倫 信長 公重

高橋 大村氏女

高橋 美久 若林長十郎正室
 高橋 美久 高橋氏正室
 高橋 美久 高橋氏正室

高橋公重保元中... 高橋公重保...
 高橋公重保元中... 高橋公重保...
 高橋公重保元中... 高橋公重保...

乙卯年九月廿九日如左... (Vertical text describing a specific date and event, likely a burial or anniversary, mentioning '乙卯年九月廿九日' and '如左' followed by details.)

某

母

吉田氏女

貞臣

山田氏

親戚

右母 貞臣 山田氏
右母 貞臣 山田氏
右母 貞臣 山田氏
右母 貞臣 山田氏
右母 貞臣 山田氏
右母 貞臣 山田氏

貞臣... (Main body of vertical text, likely a biographical sketch or a record of family events, starting with '貞臣' and continuing with several lines of text.)

親貞

伊成

母

山田氏女

女

貞臣

貞臣之孫親親書

貞臣之孫親親書... (Additional text at the bottom left, possibly a signature or a note related to the main text.)

吾頃年作日雖家室之不出伊織方其後

乙巳年 多招陳八可次書

親女

市川幸左衛門教女

實父 實母 乙巳年

實父 實母 乙巳年

實父 實母 乙巳年

明和元年十月十日...

乙巳年...

乙巳年...

乙巳年...

十月廿九日... 乙巳年...

乙巳年...

乙巳年...

乙巳年...

乙巳年...

女

乙巳年...

女

乙巳年...

い
後刻

先祖書

未
小林清太郎

後刻
百三十三回〇梅田家

百三十三回
小林清太郎
梅田家

女
母
天
正

女
母
井園清太郎貞女

親
母
留
正

友
子
實
井園乙未年
五

一陽友在

定波土事年為、和之記書、内官女也
此年分、此年分、此年分、

改修

一陽友在

改武

幼少年人又改武吉 一陽友在

女子

町區作 楊公昌益也及也
天正六年七月七日、此指七次、病也

改別

母石月

改別

宣德十八年、此年、此年、此年、此年、
改別、此年、此年、此年、此年、

改別

母石月 一陽友在

改別、此年、此年、此年、此年、

改修

改修

此年、此年、此年、此年、

女子

母右月

小川志保并其妹書

母右月并其妹外之保并其妹色通女

古名反并其妹外之保

女子

母右月

田中重吉并其妹書

女子

母右月

大友重吉并其妹書

母右月并其妹外之保并其妹色通女

母右月并其妹外之保并其妹色通女

古名反并其妹外之保

女子

母右月

内務省并其妹書

母右月并其妹外之保并其妹色通女

女子

一陽造并其妹書

母右月并其妹外之保并其妹色通女

母右月并其妹外之保并其妹色通女

古名反并其妹外之保

女子

母右月

天明二年十一月廿九日卒年七十一

寛政六年十一月十日卒年七十一

文

女子

母一陽造并其妹書

寛政三年七月廿九日卒年七十一

政脩 母有 一場直太年一

女子 母有 一場直太年一

女子 母有 一場直太年一

女子 母有 一場直太年一

一 年長月日... 初代... 一場直太年一

一 門八右左... 一場直太年一

一 門八右左... 一場直太年一

一月

一場直太年一

政定 早世
 一陽道河内
 政成 一陽道河内

政備 一陽道河内

女子 早世

女子 一陽道河内
 女子 多田新八郎
 女子 本原五郎

先祖云

為系祖

一陽 政 九内女子
 与發一女子

本原五郎 本原五郎 本原五郎 本原五郎

一初代

母 亦女 生亦亦亦

一陽 亦女 亦女

本原五郎 本原五郎 本原五郎 本原五郎

本原五郎 本原五郎 本原五郎 本原五郎

五七

為憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

之儀其年より親の御心

出た也三月より親 麻布の服なり

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

二年二月親の御心より親の御心

甲午七月親の御心

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

近頃有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

有憲氏極其自意於甲午二月自給の徒有也

享保二十五年三月廿九日
少子海邊安之丞孫川村
為左 右子門次郎 是年四月廿九日 早子 少子

改信御子

母 正徳 是年十月廿九日 早子 少子

一場 是年三月廿九日

一場 是年三月廿九日

一二月

母 正徳 是年十月廿九日 早子 少子

有徳代傳氏 享保二十五年十月廿九日 早子 少子 是年三月廿九日

是年三月

早子 是年三月廿九日 早子 少子 是年三月廿九日

日下 享保二十五年八月廿九日 早子 少子 是年三月廿九日
是年三月廿九日 早子 少子 是年三月廿九日

改信書

是年三月

改信御子

是年三月

改信御子

母 正徳

享保二十五年三月廿九日 早子 少子 是年三月廿九日
是年三月廿九日 早子 少子 是年三月廿九日

改信御子

母 正徳

一場 是年三月廿九日

是年三月廿九日 早子 少子 是年三月廿九日

政信子 町医師

橋本昌隆

母古月 方相 嘉永元年七月廿六日 六十七歳死

一 三代目 生家系 母古月

一 橋本昌隆 母古月

一 隔年 政信 始年人 又次子

有徳院御代嘉永元年七月廿六日 初月 少老 儀在 隆慶
如徳院之老 嘉永元年
口元 嘉永元年九月廿七日 入老 了 御代
山元 嘉永元年九月廿七日 入老 了 御代
入山井 御代

延享二年 九月廿七日 入老 了 御代
竹橋 氣 嘉永二年 八月廿七日 入老 了 御代
子 死 古田 嘉永元年 九月廿七日 入老 了 御代
嘉永二年 九月廿七日 入老 了 御代
相 嘉永二年 九月廿七日 入老 了 御代
了 暢院 嘉永元年 九月廿七日 入老 了 御代

政成書 山井 嘉永元年 九月廿七日 入老 了 御代

政成書 山井 嘉永元年 九月廿七日 入老 了 御代

改式女子 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

母久保 乙卯年十月十日

元久保 乙卯年十月十日

改式女子 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

改式女子 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

改式女子 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

改式女子 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

改式女子 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日 乙卯年十月十日

天明元年正月廿六日

口年正月十八日

若菜藤子

由比良屋氏贈口年

天明元年正月廿六日

山本若菜藤子

若菜藤子

口年正月十八日

山本若菜藤子

天明元年正月廿六日

若菜藤子

由比良屋氏

口年正月十八日

山本若菜藤子

若菜藤子

由比良屋氏

口年正月十八日

若菜藤子

由比良屋氏

口年正月十八日

山本若菜藤子

天明元年正月廿六日

若菜藤子

由比良屋氏

口年正月十八日

山本若菜藤子

1
室之町區所檢本四三三三三三
母 一揚友太忠政信女
母 一揚友太忠政信女

女子 古口友太忠政信女
母 古口友太忠政信女
安田新太郎昌屋書

改修信子
母 一揚友太忠政信女
一揚友太忠政信

改修信子
母 古口友太忠政信女
安田新太郎昌屋書

古口通四在也

寛政上巳未年

安田新太郎昌屋書
一揚友太忠政信
一揚友太忠政信

い
古

系

平
上
下
左
右
中

後
山
石
七
指
公
友
海
田
之
子
与

小
字
江
尾
小
道
長
孫
子
記

丹
口
美
作

中系姓 丹口

名譽殿代三郎小伊藤丹口村長住持所也
井口と云ふ事

幕代 信貞

下取 口口 井口 松永

井口宗子所云氏代

了之宗 初云云 後改云云

母 弟貞之 母 信貞所云事

年月々々山江村の長子丹口村也
山家所云信貞村也

程段種依所云慶長年月々々所云事

口口所云種依所云事

古徳所云種依所云事

口口所云事

年々所云事

一 古徳所云事

年々所云事

古系姓

母 信貞所云事
初云云

女子

百代

母 元正天皇御孫足利大寺子孫御孫
書 美濃守河津守御孫 和守子孫史中元女
母 元正天皇御孫足利大寺子孫御孫
皇十一年七月五日壬子生於大寺西六年
皇十一年七月五日壬子生於大寺西六年
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女
和守子孫史中元女

和守子孫史中元女

女子

母

百代

果

九代

母

和守子孫史中元女

和守子孫史中元女

和守子孫史中元女

和守子孫史中元女

和守子孫史中元女

和守子孫史中元女

寛政十三年三月

井口 萬作之孫 五

未上り分
場之孫也

長子也
三右衛門長
場之孫也

系譜

い
五
五

小
場之孫也
井口 萬作

左系此 井口

大藏冠法皇之系系人皇七十六代近信院之御年
御宇御出御之御居紅赤名門御出御内井口御出御

幕殿 上ノ方左

幕殿 舞殿

御之

宗信

母

御名不知

水原山部女

書

御名

野村山部女

御福六之元年乙未年乙未村住御田信長云
若二十年遠舟渡行下御年云云御出御

後醍醐天皇 乙未年御出御自乙未村之御名云
後醍醐天皇御出御之御名御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御
鳥居同出御之御名御出御御出御御出御御出御

相傳中男為下進言仁信言以年終の事書上
少座以於之云云人教方為下座中紙信之太
内也年終の事書上仁信の事と申すは仁信の
中の事書上仁信の事と申すは仁信の
如右の事書上仁信の事と申すは仁信の
尾座出座信人教方為下座中紙信之太
河利運也河利運太座村の事と申すは仁信の
河利運の事と申すは仁信の事と申すは仁信の
有座出座信人教方為下座中紙信之太
申すは仁信の事と申すは仁信の事と申すは仁信の
言ハレ事ハレ不方其座出座信人教方為下座中紙信之太

上意ハレ事ハレ不方其座出座信人教方為下座中紙信之太
仁信有座出座信人教方為下座中紙信之太
申すは仁信の事と申すは仁信の事と申すは仁信の
小村ハレ事ハレ不方其座出座信人教方為下座中紙信之太
申すは仁信の事と申すは仁信の事と申すは仁信の
乙未年七月海老原の事と申すは仁信の
小倉井上村仁信の事と申すは仁信の

宗精 中三拜

八八〇 左方也 達者

乙未年七月海老原の事と申すは仁信の
申すは仁信の事と申すは仁信の事と申すは仁信の
申すは仁信の事と申すは仁信の事と申すは仁信の
申すは仁信の事と申すは仁信の事と申すは仁信の

宗次

右第ハ

母

野村氏女

書

壬辰代多子

之宗次孫(江)也(女)

五十二代(女)年(生)口村乙(初)村(末)年(八)五(年)終(有)
元(和)二(三)年(保)林(一)系(尚)下(孫)代(之)年(五)年(五)年
小(滿)遠(以)与(孫)代(行)家(引)信(之)心(六)年(五)年
亦(引)千(五)代(年)云(孫)代(引)与(号)也(宗)院(光)全(傳)者

某

源第ハ天

之(又)長(七)代(年)二(月)古(七)代(年)引(与)心(極)院
宗(貞)人(三)子(子)

女

秀村氏女

駒井氏女

信

宗景

母

乙辰氏女

書

久(右)第

五(右)第

宗(引)院

元(和)元(五)年(七)月(九)日(生)口(村)之(初)年(終)有
元(和)二(五)年(引)与(七)代(年)云(孫)代(引)与(号)也(宗)院
信(貞)院(秋)

宗次

右第ハ

書

野村氏女

亦(右)長(七)代(年)引(与)心(極)院

元(和)二(五)年(引)与(七)代(年)云(孫)代(引)与(号)也(宗)院
元(和)二(五)年(引)与(七)代(年)云(孫)代(引)与(号)也(宗)院

公初代廿五而宗位之稱皆傳名之其相為
仁知是之由也之古語也其如吾等所記之志
修遠而汝身不暇不己甚村之志廣而助也
世位仕也石之志上居也其海島也助也

宗矩

和之由 右第八

本國氏女

書

右第

本國及十年重之

宗

和之由

貞享元年正月十日生於本國也其父
本國及十年重之其母本國氏女也其父
其父死二十日其母死其父死其母死其父死

貞享二年二月十日死於本國也其父

初克、春之子

女

文

貞享元年正月十日生於本國也其父

宗明

和之由 見右第

本國及十年重之

宗明

本國氏女

書

右第

本國及十年重之

本國氏女

本國及十年重之

元禄元年十二月十日生於本國也其父
其父死二十日其母死其父死其母死其父死

二ノ六ノ十二 下欠

廣後

延享元年 江原

母

園田氏女

延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女

充貞

延享元年 江原

母

園田氏女

延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女

某

延享元年 江原

延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女

惟親

延享元年 江原

母

園田氏女

延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女
延享元年二月十日生 園田家次女 秀心女

八ノリノ江國諸國之信子配入定政八年
三ノリノ信子配入

女 母 多喜 配入 信子 配入 定政 八年
女 母 信子 配入 定政 八年

女二人 井村氏女

右ノ信子配入
信子 配入 定政 八年
寛政 十一年
井口 信子 配入

未三ノリノ信子
三ノリノ信子

信子
信子 配入 定政 八年



系譜

信子

三ノリノ信子

井口 信子

仲系姓

井口氏

先人祖可敷代直臣佐藤部
井口村佐藤氏佐藤部井口
村佐藤氏佐藤部

幕代

四目文字

家代

仇

勢代

四目結
井口同

井口澤三忠義氏四代源井口澤三忠義氏

夕カ子
之室

右井口(古)字宗家(古)田村
小名(古)田村(古)宗家(古)田村
井口(古)田村(古)宗家(古)田村

母 柳山(古)田村(古)宗家(古)田村

妻 赤女

弟 康元(古)田村(古)宗家(古)田村
柳山(古)田村(古)宗家(古)田村

初有(古)田村(古)宗家(古)田村
并(古)田村(古)宗家(古)田村

寛文(古)田村(古)宗家(古)田村
古(古)田村(古)宗家(古)田村
寛文(古)田村(古)宗家(古)田村
古(古)田村(古)宗家(古)田村

文昭(古)田村(古)宗家(古)田村
古(古)田村(古)宗家(古)田村
文昭(古)田村(古)宗家(古)田村
古(古)田村(古)宗家(古)田村

予作年相病在生之如^光衣^光衣^光衣^光
 同九壬辰年二月十日^光衣^光衣^光衣^光
 所免多^光衣^光衣^光衣^光
 由由^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光
 病死^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光
 是石^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光

夕カトウ
 高虎 如右如左年 如左如右年

母 以代友石系如左如右氏女
 父 如左如右如左如右氏女

実母 家女

妻 夫如左如右如左如右氏女

子 夫如左如右如左如右氏女

在予如左如右如左如右氏女
 如左如右如左如右氏女
 如左如右如左如右氏女

保八^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光
 保八^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光
 保八^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光

保八^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光
 保八^光衣^光衣^光衣^光二月廿九日^光衣^光衣^光衣^光

博後院禮記 所見之

高麗王二十五年九月十八日 郭居仁
高麗王二十五年九月十八日 郭居仁

日十一 宣統元年四月二條 宣統元年四月二條

明和元年正月十七日 宣統元年正月十七日

日七 宣統元年四月二十日 宣統元年四月二十日

日八 宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

宣統元年十月二十日 宣統元年十月二十日

云那之三季年二月十日 酉井紀行

他子成

同紀中辰年九月 諸君有女子成

以順之長相音一曰 諸君自他

日七丁子年八月 亦乃打年古船中

子成

實取紀壬子年七月 丁乃諸君有女子

他子成

日八百辰年二月 八日 諸君有女子

信武村小石川 諸君有女子

信在苑岳院 月溪深水

女子

井口助吉家 子流書

女子

母 四代安石原新屋 正氏女

大石原屋 正氏女

女子

中江丸右衛門 景隆書

母 右口人女

某

早世

母 右口人女 用介小石原辰年長年女

夕方の
了

竟た

良母 大徳院用人小林九才長年母

美父 小室信直宗井世為院以年又存

久明次男

美母 亦女

書 良父井口助吉了虎女

女是也持年七月十日初生也年
長子也作世知子好不承也
熱法之上集人三也
天明乙巳年十二月廿二日初生也

又古真久明方了虎女

了
了
了

母 井口助吉了虎女

安永九年正月廿日武家小年迄
藤原の祚下と記生也

天保六年八月二十七日老病死に
武村少右衛門吉成与上茶中

法名法興院

女子

母 井口助吉了虎女

井口助吉了虎女

右牛二女... 虎... 高成

高成

実母 小女

実父 小女

実母 小女

妻 小女

明和元甲申年二月廿六日... 虎...

了上虎... 虎... 虎... 虎... 虎...

子既...
寛政八年...
少名...
台...
...

女子

母...
...

右子...
...

了...
...

母...
...

実父

...

実母

...

妻

...

安永七年...
...

私に於ては名族の間所を中判
元安慶科了も所と作法如昔又時
書法法也天由中書子記之廣也

一 和名多世父居名海江社社近自史
類物也古所也

一 之祖了皇代分社近也色通塞門
本朝の心知也又古所也

右通所夜也上

了百信表 年小通古 白紙名通海の所下

寛政十年十二月

井口文字 主 〇

系譜

い
平
新

三月廿八日
小笠原重房様御書

午後
百五十五〇
沼田

小笠原重房
小笠原重房御書
井田九藏

平姓

井田

幕

九月廿日

幕

九月廿日

幕

九月廿日

桓成天皇後胤井田尾高尉重政太子井田冬彦
政被末孫井田冬彦及直也

光重

光重

母

光重

光重

光重

宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日
宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日

宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日
宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日
宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日

光胤

母 妻

宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日
宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日

宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日
宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日

宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日
宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日
宣和八年三月朔日 宣和八年三月朔日

寛保元年辛酉年十一月二日
寛保二年丙子年七月七日
延享元年丁卯年七月七日
以上法石心卷直心

良幹 スケ

九歳

母

國別西島

水産志志 宣好普女

書

以屋

今子長年候後女

後書

以屋

田中近左衛門 宣好普女

寛保二年九月廿三日

有徳元 寛保元年七月

久文二丁 寛保元年七月

寛保元年七月廿三日

寛保元年七月廿三日

寛保元年七月廿三日

寛保元年七月廿三日

寛保元年七月廿三日

寛保元年七月廿三日

室戸正之丞兼兵部少輔正法左衛門督晴吟

道房

元次郎

室文

少将

右卫门督兼和道二司

室母

少将

右卫门督兼晴命女

以心七郎

享和元年八月廿二日卒于京

三郎

享和元年二月廿二日卒于京

離師

享和元年二月廿二日卒于京

女

母

以上係室戸

金子左兵衛信女

金子丹元之丞兼道房妻
安永二全三年三月廿九日

景親

元次郎

室文

右卫门督

野呂勘馬武雅次男

室母

右卫门督

野呂角吉武景女

安永八己三年四月九日卒于京

以心七郎

享和元年二月廿二日卒于京

金子梅

右卫门督

大分
良定

方印

養父

井原又三右衛門

養母

方印

天保九年七月廿三日

九月十日

透那院

方印

定成二為... 白河甲斐之... 天保九年八月廿五日

女

同日... 天保九年... 九月廿三日... 天保九年八月廿五日

方印

田中近右衛門... 天保九年八月廿五日

右通口在空

子百孫信 不國上野 自屋安取山所

定改土 未年九月

定改土 未年九月 井田九藏 五

未八十三

改麻 所礼及

年氏 日百孫七及 湯田高書

先礼書

一 年所

新山山本石之在 井田高書

天如三年二月... 宣平元年二月... 宣平元年二月...

信友

又十年

宣文

宣母

宣妻

宣父

宣子... 宣女... 宣孫...

宣平元年二月... 宣平元年二月... 宣平元年二月...

宣平元年二月... 宣平元年二月... 宣平元年二月...

如年陰多... 内... 皆... 是... 年...
 平... 是... 年... 是... 年...

女

母

新井氏女

井原... 年... 信... 友... 嘉...

義長

母

井原... 年... 信... 友... 嘉...

義周

母

井原... 年... 信... 友... 嘉...

控... 年... 月... 日... 田... 部... 信... 友... 嘉...
 井原... 年... 信... 友... 嘉...

義若

母

井原... 年... 信... 友... 嘉...

井原... 年... 信... 友... 嘉...

女

母

信人

信人... 年... 信... 友... 嘉...

某

母

井原... 年... 信... 友... 嘉...

信長

母

信長... 年... 信... 友... 嘉...

信長... 年... 信... 友... 嘉...

女

母

信長... 年... 信... 友... 嘉...

信長... 年... 信... 友... 嘉...

信壽

母

信壽... 年... 信... 友... 嘉...

信壽... 年... 信... 友... 嘉...

信壽... 年... 信... 友... 嘉...

定保三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延
三年十一月廿六日未だ然れども亦其子定延

揚安守、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也
云云、安永八年二月日官任其母也

權限云似以... 其... 天... 河... 定... 天...

女 天 惠

信實 二十年

書 天... 信...

女 天

就德 井田大助

天... 天...

信貴 天... 天...

次久の御子

女

通平の御子

吉田貞御子

母

同上

吉女

吉女御子

吉女

吉女御子

吉女

吉女御子

義路

十年

母

吉女御子

右通平の御子

吉女御子

吉女御子

吉女御子

吉女御子

寛政土

井坂

吉女

右通平の御子

吉女御子

吉女御子

寛政

井坂

吉女

宇美保氏

系井 後改 井野

宇美保氏不仕作、由吾初是是為

二代遠胤志井保志守春隆隆氏

之原系井保志守家流是行也任已

不在号系井

幕之段 曰目注

系之段 曰目注此内目注

唐 段 非當科 井筒

後氏
家
家

祐
祐

新井常日

母

新井常日

書

新井常日

年号月日不知

唐忠權

海島

權江福所代
新井常日
或以後在
祐元年

高
春

母

新井常日

書

新井常日

年号月日不知

唐書載五月五日午時在河東汾州解州
推以種石入宮之石前河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
小夏坂之

推以種石入宮之石前河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也

推以種石入宮之石前河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也
永福六年五月午時在河陰信石也

南無阿彌陀佛
谷井野
永福
三月
右
天
我
子

細
無
揚
集
吾
日
城
日
所
所

同公... 遠列... 河... 權... 畫... 可持

... 河... 所... 完... 日... 之...

... 保... 信... 河...

春秀 ハニヒテ 井野... 早世

母 河...

春次 ハニヒテ

母 河...

妻 河...

年八月日不名是河内守也
惟以福所代長也
知五百名長十九年以二十九年
年向井乃監守之府大板河内守
心福元甲年八月日名相林之信也水
少室河内守也
心福元甲年八月日名相林之信也水
年不名也

長女 井野信子坊

母 信女之名
書 日名
年八月日不名是河内守也
心福元甲年八月日名相林之信也水
少室河内守也
心福元甲年八月日名相林之信也水
年不名也

春重 井野平兵衛 後醍醐天皇

母 近安 不知

年号 月日 不知 或 國 不知 年号
月日 不知 不知 不知 不知 不知
不知 不知 不知 不知 不知 不知
不知 不知 不知 不知 不知 不知
不知 不知 不知 不知 不知 不知
不知 不知 不知 不知 不知 不知
不知 不知 不知 不知 不知 不知
不知 不知 不知 不知 不知 不知

春重

井野平兵衛 後醍醐天皇

母

不知 不知 不知

不知 不知 不知

書

不知 不知 不知

寛永十八年 三月 不知 不知 不知

出

寛文 不知 不知 八月 不知 不知 不知 不知

不知 不知 不知 不知 不知 不知 不知 不知

不知 不知

不知 不知 不知 不知 不知 不知 不知 不知

萬曆四十二年三月廿五日奉旨以右少保
云云

萬曆四十二年六月廿五日奉旨以右少保
六十二年六月廿五日奉旨以右少保
保壽先明寺法住寂靜院淨受

春

丹歸定公

母 氏 氏 氏
氏 氏 氏
氏 氏 氏

元和二年九月九日奉旨以右少保

文保六年六月廿八日奉旨以右少保

長安也新及后海自祐元但長子傳

長安也新及后海自祐元但長子傳

長安也新及后海自祐元但長子傳

用書役

正德二年十月廿五日奉旨以右少保

後以所出居交明寺法住淨受

長安也新及后海自祐元但長子傳

湯屋浦

寛保二年二月廿四日
寛政元年八月廿九日
所

富曆二年九月廿九日
所
日
止
富曆二年十月廿九日

初
年
陽
之

月
日
年

女子
母

春輔

并歸八名次 才一少

母

妻

日長徳也... 中村... 水清...

正徳元... 宝暦... 享和...

同年八月... 天明... 享和...

入... 天明... 天明... 天明...

高俣

川上忠政

母

日長徳也... 中村...

天明... 天明... 天明...

室長房

山縣貞吉

母 右内人女

享保十九年閏九月十四日乙子生

江户市山縣源右衛門忠房長女

直臣

元田五十年

母 右内人女

寛延元年九月十四日乙子生

右京区河原町西町山縣源右衛門忠房長女

高忠

川上九門

母 右内人女

寛延元年九月十四日乙子生

江户市山縣源右衛門忠房長女

女子

山縣源右衛門忠房長女

母 右内人女

某

井野源 早也

母 有馬守格源右衛門忠房長女

女子

母 右内人女

宝曆十二年辛巳月度後右内人女

正嘉治 不姓取所

春茂 井野第

母 右内人女

宝曆十二年辛巳月度後右内人女

正嘉治元年甲申年八月度後右内人女

春茂

正嘉治元年甲申年八月度後右内人女

春敷

井野第

母 右内人女

正嘉治元年甲申年八月度後右内人女

宝曆十二年辛巳月度後右内人女

正嘉治元年甲申年八月度後右内人女

春茂

正嘉治

宝曆十二年辛巳月度後右内人女

正嘉治元年甲申年八月度後右内人女

書法見丹上慶元之死也
 安永九年三月十日
 天明八年三月十日
 安政元年三月十日
 安政二年三月十日
 安政三年三月十日
 安政四年三月十日
 安政五年三月十日
 安政六年三月十日
 安政七年三月十日
 安政八年三月十日
 安政九年三月十日
 安政十年三月十日
 安政十一年三月十日
 安政十二年三月十日
 安政十三年三月十日
 安政十四年三月十日
 安政十五年三月十日
 安政十六年三月十日
 安政十七年三月十日
 安政十八年三月十日
 安政十九年三月十日
 安政二十年三月十日
 安政二十一年三月十日
 安政二十二年三月十日
 安政二十三年三月十日
 安政二十四年三月十日
 安政二十五年三月十日
 安政二十六年三月十日
 安政二十七年三月十日
 安政二十八年三月十日
 安政二十九年三月十日
 安政三十年三月十日
 安政三十一年三月十日
 安政三十二年三月十日
 安政三十三年三月十日
 安政三十四年三月十日
 安政三十五年三月十日
 安政三十六年三月十日
 安政三十七年三月十日
 安政三十八年三月十日
 安政三十九年三月十日
 安政四十年三月十日
 安政四十一年三月十日
 安政四十二年三月十日
 安政四十三年三月十日
 安政四十四年三月十日
 安政四十五年三月十日
 安政四十六年三月十日
 安政四十七年三月十日
 安政四十八年三月十日
 安政四十九年三月十日
 安政五十年三月十日
 安政五十一年三月十日
 安政五十二年三月十日
 安政五十三年三月十日
 安政五十四年三月十日
 安政五十五年三月十日
 安政五十六年三月十日
 安政五十七年三月十日
 安政五十八年三月十日
 安政五十九年三月十日
 安政六十年三月十日
 安政六十一年三月十日
 安政六十二年三月十日
 安政六十三年三月十日
 安政六十四年三月十日
 安政六十五年三月十日
 安政六十六年三月十日
 安政六十七年三月十日
 安政六十八年三月十日
 安政六十九年三月十日
 安政七十年三月十日
 安政七十一年三月十日
 安政七十二年三月十日
 安政七十三年三月十日
 安政七十四年三月十日
 安政七十五年三月十日
 安政七十六年三月十日
 安政七十七年三月十日
 安政七十八年三月十日
 安政七十九年三月十日
 安政八十年三月十日
 安政八十一年三月十日
 安政八十二年三月十日
 安政八十三年三月十日
 安政八十四年三月十日
 安政八十五年三月十日
 安政八十六年三月十日
 安政八十七年三月十日
 安政八十八年三月十日
 安政八十九年三月十日
 安政九十年三月十日
 安政九十一年三月十日
 安政九十二年三月十日
 安政九十三年三月十日
 安政九十四年三月十日
 安政九十五年三月十日
 安政九十六年三月十日
 安政九十七年三月十日
 安政九十八年三月十日
 安政九十九年三月十日
 安政一百年三月十日

春日定

井原定也

母

高橋定也
 恒川幸助
 高女

右通也

高橋定也
 恒川幸助
 高女

安政十三年

井原定也



